



1. 受験と感染予防対策

2月になりました。3年生は、本格的な入学試験の時期を迎えます。自分の力を発揮することを求められるのが入学試験です。これまでの3年生の皆さんが積み重ねてきた努力が試される大切な機会となります。それだからこそ、入学試験には万全な準備をしてその場に臨んで欲しいと思います。とくに、体調の維持管理は実力を発揮するための基本となります。しかし、これからの時期は、新型コロナウイルス感染症に加えて、インフルエンザなどが流行する時期と重なり、体調管理が難しくなります。新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも、飛沫で感染する感染力の強いウイルスと言われています。感染予防のために基本的な感染予防対策をお願いします。

とくに、次のような点には留意してください。

- 不要不急の外出は避け、人ごみには行かない。
- 微熱があるときや体調が思わしくないときは、登校せず医療機関を受診する。
- 家庭内でも感染予防に気を配る。(家族のなかでの感染を防ぐ)
- 家庭内でも必要に応じてマスクを着用する。

この時期は、自分でも感染予防に関する情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高めてください。

2. 新入生保護者対象説明会

津田中学校は、昭和22年4月1日、津田町立津田小学校講堂を借用して創立された伝統のある中学校です。校訓である「自他敬愛」を脈々と引き継ぎ、現在に至っています。1月22日(月)、この伝統を引き継ぐ新入生の保護者様を対象に津田中学校体育館において入学説明会を開催いたしました。お忙しい中、133名の入学予定の保護者の皆様に参加してくださいました。保護者の皆様と直接お話ができ、とてもうれしく思いました。入学を心待ちにしている子どもたちの期待に沿えるよう、教職員一丸となって教育活動をすすめてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

3. 家族の応援や声援を自分の力に変換

1月28日(日)、「第43回大阪女子マラソン」が開催され、前田穂南(まえだ ほなみ)選手が2時間18分59秒の日本新記録をマークしました。前田選手は、東京オリンピックのあと、けがに苦しんだ時期があったそうですが、「継続は力なり」という言葉に胸に、苦しみなながらも努力を続けてこられたそうです。レースの中継では、粘りどころとなる30キロ付近でピンク色のジャンパーを着た前田選手の父である哲宏(あきひろ)さんが、「ほーちゃんファイト。いい感じ!」と声援を送りながら並走している姿が映し出されていました。前田選手は、レース後の会見で、父について聞かれ、「応援の声はよく聞こえませんでした。が、(父の姿を見て)頑張ろうと思いました。」とコメントされていました。

父の哲宏(あきひろ)さんは、苦しみなながらも懸命に努力する娘の力になりたいと精神的サポートに徹してきた。「言わなくても勝手に頑張るから」と「焦らないで」とねぎらいの言葉をかけ続けたそうです。

今、3年生は、本格的な入学試験の時期を迎えています。自ら進路を選択し、決定しなければなりません。進路実現に向けての学習は、孤独で辛いマラソンのようですが、その沿道には、応援してくれる家族や声援を送ってくれる仲間や先生がいます。クラスの仲間と支え合い、刺激しあうとともに、家族の応援や仲間、先生の声援を自分の力に変えて乗り越えて欲しいと思います。